

## 調査研究報告書

### 調査研究課題：

一般用医薬品の安心安全確保のための登録販売者間情報交換・研修システムの運用と展開

東京大学大学院薬学系研究科 調査研究者氏名 澤田 康文

共同研究者：堀 里子、三木晶子、佐藤宏樹

(〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 Tel：03-5841-2271)

### 要旨

【背景・目的】薬事法および同施行規則の改正に伴い、平成 21 年 6 月より一般用医薬品のうち第 2 類および第 3 類医薬品の販売に、新しく登録販売者が認められることになった。登録販売者は、薬剤師とともに医療消費者のセルフメディケーションをサポートする役割が求められる。その一方で、登録販売者が継続的に学べる体系的な研鑽の場は殆ど確立されていない。また、OTC 医薬品の使用実態は、医療用医薬品と異なり医療従事者、販売者や製造業者によるモニターが不十分なのが現状である。これらの課題を解決するために、我々は昨年度新たにインターネットを介した登録販売者間情報交換・研修システム（アイレドシス：Internet-based registered drug seller's information sharing system）を構築した。そこで本調査研究では昨年度開発したインターネットを介した登録販売者間情報交換・研修システム（アイレドシス）を運用・展開し、本システムの有用性を評価することを目的とする。【方法】アイレドシスは、会員登録制（無料）とし、平成 22 年 5 月より構築したアイレドシスにおいて事例配信を開始し、その後月 2 回の事例配信を継続している（平成 23 年 3 月現在）。配信と平行して、現場の登録販売者に対する広報と聞き取り調査を行った。【結果・考察】登録会員は、991 名（平成 23 年 3 月現在）である。配信後の現場の登録販売者から、本サイトは有用であるとの意見を得ており、本システムにより、登録販売者が身近におこった「ヒヤリハット」や「疑問・相談」を解説が付加された研修コンテンツとして登録販売者間で共有することが可能になった。

## 1. 調査研究目的

薬事法および同施行規則の改正に伴い、平成 21 年 6 月より一般用医薬品（OTC 医薬品）のうち 95%（約 13,000 品目）におよぶ第 2 類および第 3 類医薬品の販売に、新しく登録販売者が認められることになった。第 2 類および第 3 類医薬品の中には、使用法、使用上の注意（副作用、医薬品と食品・嗜好品との相互作用）の面から注意すべき点も多く、販売時のモニタリングが必要な医薬品が多数存在する。また、消費者の状態を見極め医療機関への受診勧告も必要となる。このように、セルフメディケーションの推進において登録販売者が果たすべき役割は大きい。しかしながら、登録販売者が継続的に学べる体系的な研鑽の場はほとんど確立されていないのが現状である。そこで昨年度は、インターネットを介した登録販売者間情報交換・研修システム（Internet-based registered drug seller's information sharing system: i-redsiss、アイレドシス）を構築した（平成 21 年度本財団調査研究報告書「一般用医薬品の安心安全確保のための登録販売者間情報交換・研修システムの構築」を参照）。今年度は、構築した本サイトを実際に運用し、システムの基礎強化と有用性の向上を図った。

## 2. 調査研究方法

### 2-1. 事例の作成と定期的な情報配信

本システム構築前の実態調査の結果をふまえて、システムで提供する情報提供素材項目（コーナー）を以下の 3 種類のコンテンツから構成することとした（図 1）。

#### 1) トラブルヒヤリハットコーナー

目的：店頭の日々の業務で起こったヒヤリハットを共有し、業務の質を高める。

#### 2) なんでもかんでも相談コーナー

目的：医薬品に関する会員からの質問に対して正確な回答を供給する

#### 3) クイズコーナー

目的：クイズ形式で出題し、一般用医薬品の知識向上を図る

本サイトは、平成 22 年 5 月 10 日より登録会員（無料）に公開した。新規事例更新時には登録会員を対象にメールマガジンにて事例紹介を行うこととしたが、メールマガジンの配信は平成 22 年 5 月 10 日より月 1 回から開始し、現時点で第 1 および第 3 月曜日の月 2 回の定期的配信を行っている。

## **2-2. 事例投稿コーナーの開設と事例投稿の推進**

本サイトは、研修システムと同時に登録販売者間情報交換システムであるため、現場の様々な事例を収集し、教育用コンテンツに作成し直して現場へフィードバックする役割を担うべくサイトの運営を行っている。そこで、トラブルヒヤリハットコーナー各事例の最後に『「同じような経験をした」「医薬品や健康食品などの販売時のトラブル」「トラブルにつながりかねなかったヒヤリ・ハット事例」等の情報をお持ちの方がいらっしゃいましたら、どのようなことでも結構ですのでぜひご投稿ください。』と記載し、ヒヤリ・ハット事例の投稿窓口を設けた。また、なんでもかんでも相談コーナー各事例の最後にも、「医薬品や健康食品に関する疑問や、日々の販売業務における様々な疑問にもお答えしています。どのようなことでも結構ですのでお気軽にご相談ください。」と記載し、相談窓口を設置した。トラブルヒヤリ・ハット事例および相談コーナーへの投稿フォームを図 2-1、2-1 に示す。

## **2-3. 登録販売者へのアイレドシスの広報と登録者の確保**

本サイトを紹介したパンフレット（図 3-1, 3-2, 3-3）を作成し、ドラッグストアへの配布や登録販売者向けの勉強会会場にて配布した。

## **2-4. 登録者を対象としたシステム評価**

本サイト公開後に、現場登録販売者に閲覧後の意見を聞き取り調査した。また、各事例を閲覧後に評価できるように評価システムを搭載し（図 4-1, 4-2）、会員の感想を収集することにした。

## **2-5. アイレドシスとアイフィス・アイメディスの相互連携**

本システムでは、これまで我々が構築してきたアイフィス<sup>1)</sup>\*・アイメディス\*では不十分であった OTC 薬による諸問題（その有害事象や安全性情報、使用情報（服用性・使用性を含む情報））をより効率的に捉えることが可能になると考えられる。さらには、図 5 に示したように、アイフィス・アイメディスとの相互連携により、重要事例に関しては相互配信することでその他の医療従事者との情報共有も可能となり、最終的にはセルフメディケーションの適正化と安全確保が実現できると考えられる。

\*アイフィス(iphiss) : Internet-based pharmacist's information sharing system

\*アイメディス(imediss) : Internet-based medical doctor's information sharing system

### 3. 調査研究成果

#### 3-1. 事例の作成と定期的な情報配信

平成 23 年 3 月末までに計 22 事例（うち 3 事例は公開日に同時更新）の配信を行った。これまでに配信した事例リストを表 1, 表 2, 表 3 に示す。その際のメールマガジンの例を図 6 におよびメルマガ配信時のヘッドラインリストを表 4 に示す。

#### 3-2. 事例投稿コーナーの開設と事例投稿の推進

投稿コーナーに投稿された会員からの意見を表 5 に示す。これらの中には、教育的コンテンツに修正可能な投稿もあり、順次配信する予定である。

#### 3-3. 登録販売者へのアイレドシスの広報と登録者の確保

現時点での会員は 991 名であるが、今後、登録販売者が日常的に購読する情報媒体に広報を掲載するなどして会員増を図る予定である。

#### 3-4. 登録者を対象としたシステム評価

公開後に現場の登録販売者に事例閲覧後の評価をインタビューしたところ、登録販売者試験合格後は勉強する機会も少なくなり本サイトのような学習環境が必要であるとの回答を得た。その他の閲覧後の感想や要望を表 6 に示す。

さらに、評価システムを各事例に搭載したが、会員数の増加を待っての搭載であったこと、また、評価システムに不慣れな会員も存在するため、まだ十分数の意見を得られていない。しかし、評価の結果から、本サイトに掲載している事例は難しくなく、業務に役に立っているとの意見が多かった（表 7）。

#### 3-5. アイレドシスとアイフィス・アイメディスの相互連携

アイレドシスは、運用開始したばかりであり、今年度においてはアイフィス・アイメディスとの相互連携により、重要事例に関する相互配信できるコンテンツは無かったが、今後相互配信できるコンテンツ作成を行っていく予定である。

#### 4. 考察

薬事法および同施行規則の改正に伴い、一般用医薬品（OTC 医薬品）のうち 95%（約 13,000 品目）におよぶ第 2 類および第 3 類医薬品の販売に携わる登録販売者の果たす役割は極めて大きい。しかし、現場で働く登録販売者をサポートする教育研修環境はまだ不足している。また、登録販売者は薬学的知識の背景を持たないため薬の危険性に対する意識が希薄な面があること、医療用医薬品に対する知識が無いために医療用医薬品・一般用医薬品間または病態・一般用医薬品間相互作用を理解できていないことなどが現場における聞き取り調査から明らかとなった。したがって、登録販売者への教育研修は焦眉の急であり、登録販売者への教育研修教材としての一般用医薬品の市販後情報の収集・解析・提供システムの構築と継続的な運用が必要と考え、登録販売者のためのインターネットによる登録販売者間情報交換・研修システム（アイレドシス）を構築しさらに運用を開始した。会員の中には、このように定期的にメール配信された事例を閲覧し、学習することに慣れていない登録販売者も存在することから、本サイトの運用の有効性はまだ過少評価されている可能性があるが、継続的にこのような学習環境を提供し続けていくことの必要性が明らかとなった。

また、本サイトを介して、今後登録販売者の現状調査とともに一般用医薬品の市販後情報の収集を継続する予定である。さらに、アイレドシスでは、これまで我々が構築してきたアイフィスやアイメディスでは不十分であった OTC 医薬品による諸問題（その有害事象や安全性情報、使用情報（服用性・使用性を含む情報））をより効率的に捉えることが可能になると考えられる。図 5 に示したように、アイフィス・アイメディスとの相互連携により、その他の医療従事者との OTC 医薬品の適正使用にむけた情報共有も推進していく事が望まれるだろう。

本調査研究で運用開始したアイレドシスを、より充実した登録販売者のための研修コミュニティサイトとして発展させ、消費者のセルフメディケーションの適正化と安全確保の一助となるよう今後も取り組みを継続していきたい。

#### 5. まとめ

本研究では、登録販売者が医薬品の専門的知識を臨場感をもって学べる継続的な研修の場として、インターネットを介した登録販売者間情報交換・研修システム（アイレドシス）を運用した。本システムにより、登録販売者が身近におこった「ヒヤリハット」や「疑問・相談」を解説が付加された研修コンテンツとして登録販売者間で共有すること

が可能になった。今後は、消費者のセルフメディケーションの適正化と安全確保に向けて、アイレドシスの登録販売者会員を全国規模で募り、より充実した、登録販売者のための研修コミュニティーサイトとしてアイレドシスを継続的に運用・展開することが必要であると考えている。

## 6. 調査研究発表

(口頭発表)

三木晶子、森川 諭、佐藤宏樹、堀里子、澤田康文、 インターネットによる登録販売者間情報交換・研修システムの構築、第13回 日本医薬品情報学会総会・学術大会：2010年7月24日（浜松）

## 7. 引用文献

1. 大谷壽一，松田真実，掛樋麻里，森千江子，正岡民次，澤田康文. インターネットを用いた薬剤師間情報交換・研修システムの構築と運用（1）. 薬学雑誌 122(2): 185-192, 2002.

## Figure legend

- 図 1. アイレドシスのトップページ
- 図 2-1. アイレドシスのヒヤリハット事例投稿フォーム
- 図 2-2. アイレドシスのなんでもかんでも相談投稿フォーム
- 図 3-1. アイレドシスのパンフレット（閉じたところ）
- 図 3-2. アイレドシスのパンフレット表紙（開いたところ）
- 図 3-3. アイレドシスのパンフレット説明文（開いたところ）
- 図 4-1. トラブルヒヤリハットコーナー評価システム
- 図 4-2. 何でもかんでも相談・クイズコーナー評価システム
- 図 5. 登録販売者間、薬剤師間、医師間情報交換・研修システム（アイレドシス、アイフィス、アイメディス）の開発とシステム間連携に基づく、医薬品・健康食品の安心安全確保

図 6. メールマガジンの一例

表 1. トラブルヒヤリハットコーナーの事例タイトル一覧

タイトル	配信日
1. 血をサラサラにする薬と納豆との相性は悪い？	2010. 5. 10
2. 外見から判断してはならない！妊娠末期の婦人にイブ A を販売！	2010. 6. 08
3. 第 1 類医薬品のカーテン！開けて何とか売ってくれ！	2010. 8. 02
4. OTC 薬の服用回数につられて 3 倍量誤服薬！	2010. 8. 26
5. 新三共胃腸薬プラス錠剤から新三共胃腸薬グリーン錠へ変更しても問題ないと考えていた患者	2010. 9. 24
6. セデス・ハイ、1 日何錠飲んだかわからなくなった！どうすれば防げる？	2010. 10. 18
7. 甘草、グリチルリチンが重複してますよ！	2010. 11. 01
8. OTC のフルコート F 軟膏が医療用よりなぜ高い！と怒ったお客	2010. 11. 15
9. うつ病患者には使用不可と知って、ニコレットの返品を求めたお客	2011. 02. 07
10. ラミシールプラス液のノズルの先を切断し液が大量流出	2011. 03. 07

表 2. なんでもかんでも相談コーナーの事例タイトル一覧

タイトル	配信日
1. 酸化マグネシウムは第 3 類に留まりました。その理由は？	2010. 05. 10
2. 酸化マグネシウム販売時の注意	2010. 07. 05
3. ワーファリン錠を服用している人が、青汁を摂ってはいけないのはなぜ？	2010. 09. 06
4. 「イブクイック頭痛薬」って「イブ A」とどう違うのですか？	2010. 12. 06
5. カフェインによる低カリウム血症からミオパチー？	2010. 12. 20
6. 一般用リスク区分の変更について、第 1 類医薬品とは？	2011. 01. 17
7. グルコサミンとヒアルロン酸は別名のようなものですか。それとも別のもののでしょうか？	2011. 02. 21

表 3. クイズコーナーの事例タイトル一覧

タイトル	配信日
1. 小児用バファリンそのまま販売しても大丈夫？	2010. 05. 10
2. 医療用フルコート F 軟膏と一般用医薬品フルコート F 軟膏と同じ？	2010. 10. 04
3. ワーファリン服用中の患者が服用してはいけない「せき止め薬」は？	2011. 01. 04
4. 「コルゲンコーワ鼻炎ソフトミニカプセル」を販売してはいけない人は？	2011. 03. 18

表 4. メールマガジン配信時のヘッドラインリスト

タイトル	配信日
1 登録販売者のみなさま、こんにちは。	2010. 5. 10
2 「コデイン」類を含有する全ての鎮咳・去痰薬の販売量が制限されます	2010. 6. 08
3 ロペラミド配合フィルムタイプ下痢止め薬（第 2 類医薬品：製造販売元<興和>、販売会社<興和新薬>）が新発売されました	2010. 7. 05
4 成人の百日咳には注意！ 受診勧告を徹底してください！	2010. 8. 02
5 リン酸ジヒドロコデイン（またはジヒドロコデインリン酸塩）を含む総合感冒薬・鎮咳薬などは授乳婦には投与してはいけません	2010. 8. 26
6 ベクロメタゾンプロピオン酸エステル、塩酸オキシメタゾリン、アシタザノラスト水和物を有効成分とする医薬品がスイッチ OTC 薬として承認されました。	2010. 9. 06
7 PTP 包装シートをハサミで切り離すことはとても危険な行為！	2010. 9. 24
8 フェルピナク配合外用消炎鎮痛液剤「トクホンフェルピナローション」（第 2 類医薬品）が新発売されました	2010. 10. 04
9 10 月 1 日よりインフルエンザワクチン接種が開始されました。特に妊婦や基礎疾患を持つ患者には接種するよう情報提供してください。	2010. 10. 18
10 ケトプロフェン外用剤の継続販売が合意されました。一般用医薬品のケトプロフェン外用剤は指定第 2 類医薬品として継続販売されます。	2010. 11. 01
11 石鹸やシャンプーからアレルギー発症！加水分解コムギ末含有の医薬部外品・化粧品の販売には十分に注意してください。	2010. 11. 15
12 リスク区分の変更！ アゼラスチン、アデノシン三リン酸、ケトチフェンは第 2 類へ、ケトプロフェン、トリアムシノロンアセトニド、ラノコナゾールは指定 2 類へ！	2010. 12. 06
13 漢方薬で間質性肺炎、肝機能障害を発症！ ・荊芥連翹湯、二朮湯の「相談すること」に“間質性肺炎”が追記！ ・竜胆瀉肝湯に“肝機能障害”が追記！	2010. 12. 20
14 あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。	2011. 1. 14
15 OTC 小児用かぜ薬で死亡！小児用かぜ薬の販売時には情報提供を徹底してください。	2011. 1. 17
16 ロキソプロフェンナトリウム配合解熱鎮痛薬「ロキソニン S」が第 1 類医薬品として登場！	2011. 2. 07
17 ケトプロフェン外用剤の光線過敏症の副作用に注意！販売時には積極的な情報提供を行ってください。	2011. 2. 21
18 アセトアミノフェンの最大用量が増量！かぜ薬、解熱鎮痛薬の販売時には重複しないよう十分注意してください。	2011. 3. 07
19 ヨウ素を含む消毒剤などの飲用防止について	2011. 3. 18



表 5. 会員からの投稿・相談事例の例

投稿日	投稿内容
2010/6/11	・先日、鎮咳去痰剤の大量服用および長期服用の禁止が、添付文書に追加されました。明らかに、薬物中毒のお客様は当然販売拒否できると思われませんが、自身で気がついていないお客さままたは、知っているけど痛みなど不快な症状から逃れるために、服用せざるを得ないお客さまに服用注意を促すこと、できれば、薬の服用中止をしていただくにはどうすればいいのでしょうか？
7/6	・ワーファリを服用している人は、青汁を飲んではいけないのは、どうしてですか？ ・高齢者の医薬品の服用と肝臓の代謝または腎臓の排泄についての一般的な例題（よく副作用が起こった例で）
9/7	・今回の情報のように医療用と一般用の治療（使用）目的の違い、効能の違い等、比較検討の例 ・医薬品（一般用）と健食・サプリメントの一般的な相互作用について、店頭で起こりやすい、又身近な食事・間食等で起こりうる場合について具体例で示してほしいです。
9/7	・一般薬は一日何錠服用が記載されていません。例 2 カプセル/日：処方せん。例 1 回〇錠を一日三回（一般薬）。処方せん 1 日量が先に書かれているので、一回量と間違ふ場合があります。私が間違ったのでなぜかと考えてみました。早く気がつきましたのでよかったです！
9/8	・降圧剤を服用している、高齢の方が風邪薬を購入される際、注意すべきことはありますか？
9/8	・人参五黄服用についてお願いします
9/16	・サプリメントと併用してはいけない薬を教えてください。
9/20	・先日 疲れ目の目薬を お買い求めの お客様に <この目薬を 軽くいつでも（疲れていなくても）癖っぽく 点眼するのって 目には、あんまり良くないですよ？>と聞かれましたので、私は <パッケージに 書いてあるとおり 1日3~6回でしたら 大丈夫ですよ。6回といたら 4時間おきに1回の割ですよ。>とお答えしました。商品名でしたら（ロートビタ 40 やスマイル 40EX あたりです）血管収縮剤や ピント調整剤が それほど濃度は濃く無いとは いえ 入っているのでも 疲れてもいないのに 軽く 使うのは 実際のところ 如何なものでしょうか。もちろん 抗菌目薬や 又 充血用の目薬のように 血管収縮剤の多く入っているのは 症状の出ているときのみですよ。
9/26	・当店は高血圧、糖尿病のお薬を服用されているお客様が多く、一般的に出されている高血圧、糖尿病のお薬の種類、その薬理効果、効能、副作用、OTC薬を出す時の注意などを詳しく教えていただきたいです。
11/5	ラ・クシオンには、グルコサミンが入っていますが、お客さんがヒアルロン酸の入っているものが欲しいと言われました。グルコサミンとヒアルロン酸は別名のようなものですか。それとも全然別のもののでしょうか？
11/8	新制度で区別された指定第2類、第2類、第3類のそれぞれ一覧でもあればお願いします。できれば商品名で分かればいいのですが？
12/20	一般用リスク区分の変更についていま一つよくわからないのですが、第1類医薬品とは？このような情報は、 ①いつ ②どこの情報(1番確実な) ③いつから変わる(移行期間も含めて)

	③実際の商品としては? どのように、入手すべきなのでしょう?変更されれば、私たち登録販売者による販売ということになります。事前に、商品情報(販売方法も含めて)を確認しておく必要があるのではないかと思います。
2011 1/9	血圧降下剤を飲んでいる人には、どのような薬の飲み合わせに注意すればよいですか?
1/19	教えてください。近頃、鼻の内が乾いてとても痛いという方が多いのです。鼻がつまる、出るということはないのですが、乾いて鼻がこびりついているようでつい手がいってしまうとのことです。点鼻薬ともいわずに保湿をしてくださいでゲル状の保湿剤を薦めています。良い方法がありますか?
1/20	薬局登録の店舗で管理薬剤師、および薬剤師が不在の時間でも、登録販売者がいれば医薬品(2類、3類)の販売はできますか?
2/4	いつも貴重な情報をありがとうございます。 それに比べると初歩的な質問なのですが、火傷の患者さんにはどのようなOTCをお勧めすればよろしいのでしょうか?いままでは抗生剤とガーゼだったんですが、予防的なのはあまり意味がないといった記事を目にしたり、最近ではあまりガーゼを使わなくなってきたと聞いたりします。薬にしても紫雲膏やアロエもありますが、多くのお客様は早く治したいとおっしゃいますので、どういったケースで勧めればいいのかよくわかりません。水泡の有無によっても薬を変えるべきなのでしょう?すみませんが、教えてください。よろしくおねがいします。

表 6. 登録販売者のアイレドシスへの評価(現場の聞き取り調査)

<事例閲覧後の感想>

- ・登録販売者試験の勉強では一般用医薬品の危険性を学ぶことはできないが、本サイトのコンテンツは実現場の事例を基に作られているので一般用医薬品の危険性がよく伝わってくる。
- ・現場で働く登録販売者向けに作られており非常に勉強になる。
- ・登録販売者試験合格後、勉強する機会も少なくなり、使わない知識はどんどん忘れてしまう。このような学習環境があると定期的に勉強できてありがたい。
- ・事例作成者が明確なので、内容が信頼できる。

<当サイトへの要望>

- ・作用機序など難しいことはわからないので、読みやすく面白いコンテンツを作成してほしい。
- ・事例をどんどん収集してコンテンツを充実させてほしい。
- ・新商品情報や最近の話題などを紹介するトピックスコーナーがほしい。
- ・処方薬についても知りたい。

表 7. 登録販売者のアイレドシスへの評価（評価システム経由の評価例）

事例番号 事例	参考になったか	経験はあるか
10 ラミシールプラス液のノズルの先を切断し液が大量流出	はい	いいえ
10 ラミシールプラス液のノズルの先を切断し液が大量流出	はい	いいえ
10 ラミシールプラス液のノズルの先を切断し液が大量流出	はい	いいえ
9 うつ病患者には使用不可と知って、ニコレットの返品を求めたお客	はい	いいえ
9 うつ病患者には使用不可と知って、ニコレットの返品を求めたお客	はい	いいえ
8 OTCのフルコート F 軟膏が医療用よりなぜ高い！と怒ったお客	はい	いいえ
8 OTCのフルコート F 軟膏が医療用よりなぜ高い！と怒ったお客	はい	いいえ
2 外見から判断してはならない！妊娠末期の婦人にイブ A を販売！	はい	いいえ
1 血をサラサラにする薬と納豆との相性は悪い？	はい	はい
1 血をサラサラにする薬と納豆との相性は悪い？	はい	いいえ

事例番号 事例	参考になったか	むずかしいか
8 消炎鎮痛薬の外用剤による光線過敏症とは？	はい	いいえ
8 消炎鎮痛薬の外用剤による光線過敏症とは？	はい	いいえ
8 消炎鎮痛薬の外用剤による光線過敏症とは？	はい	いいえ
8 消炎鎮痛薬の外用剤による光線過敏症とは？	はい	いいえ
7 グルコサミンとヒアルロン酸は違うものですか？	はい	はい
7 グルコサミンとヒアルロン酸は違うものですか？	はい	いいえ
7 グルコサミンとヒアルロン酸は違うものですか？	はい	いいえ
5 カフェインってたくさん飲んで大丈夫ですか？	はい	いいえ
4 「イブクイック頭痛薬」って「イブA」とどう違うのですか？	はい	いいえ

事例番号 事例	参考になったか	むずかしいか
5 トラック運転手に販売してはいけない「解熱鎮痛薬」は？	はい	いいえ
5 トラック運転手に販売してはいけない「解熱鎮痛薬」は？	はい	いいえ
5 トラック運転手に販売してはいけない「解熱鎮痛薬」は？	はい	いいえ
5 トラック運転手に販売してはいけない「解熱鎮痛薬」は？	はい	いいえ
5 トラック運転手に販売してはいけない「解熱鎮痛薬」は？	はい	いいえ
5 トラック運転手に販売してはいけない「解熱鎮痛薬」は？	はい	いいえ
5 トラック運転手に販売してはいけない「解熱鎮痛薬」は？	はい	いいえ
5 トラック運転手に販売してはいけない「解熱鎮痛薬」は？	はい	いいえ
5 トラック運転手に販売してはいけない「解熱鎮痛薬」は？	はい	いいえ
5 トラック運転手に販売してはいけない「解熱鎮痛薬」は？	はい	いいえ
5 トラック運転手に販売してはいけない「解熱鎮痛薬」は？	はい	いいえ
4 「コルゲンコーワ鼻炎ソフトミニカプセル」を販売してはいけない人は？	はい	いいえ
4 「コルゲンコーワ鼻炎ソフトミニカプセル」を販売してはいけない人は？	はい	はい
4 「コルゲンコーワ鼻炎ソフトミニカプセル」を販売してはいけない人は？	はい	いいえ
4 「コルゲンコーワ鼻炎ソフトミニカプセル」を販売してはいけない人は？	はい	いいえ
4 「コルゲンコーワ鼻炎ソフトミニカプセル」を販売してはいけない人は？	はい	いいえ
3 ワーファリン服用中の患者が服用してはいけない「せき止め薬」は？	はい	いいえ

各種コーナー 日々の業務に役立つ多くの情報を公開していきます。

### トラブル・ヒヤリハットコーナー

一覧



トラブル・ヒヤリハット情報

#### ラミシールプラス液のノズルの先を切断し液が大量噴出

ラミシールプラス液（一般名：テルビナフィン塩酸塩、クロミトン、グリチルリチン酸、トメントール、第2類医薬品）のスプリングノズルの先をハサミで切つて使用したため、液が出過ぎて足全体に流れ出し、薬液が一気になくなりました。

2017.03.01

ヒヤリハットを投稿する

### なんでもかんでも相談コーナー

一覧



なんでもかんでも相談情報

#### 消炎鎮痛薬の外用剤による光線過敏症とは？

「プロスタグランジンの生成を抑え、痛みを鎮めます。」という決まり文句で数多くの外用消炎鎮痛薬が販売されています。これらの外用消炎鎮痛薬の副作用で光線過敏症があると聞きます。どのような点について注意しなければいけませんか？

2017.04.24

なんでも相談はこちら

### クイズコーナー

一覧



最新のクイズ

#### ワルファリン服用者に販売してよい鎮痛薬は？ **NEW**

おばあさんが鎮痛剤を買いにきました。「最近、便秘気味なんだけどなにか良い薬はありませんか？下剤はおなか痛くなるのでいりません。」と言われました。念のため、病院からの薬を飲んでいないかを聞いたところ、ワルファリン服用中であることが判りました。下剤は不要とのことなので、鎮痛剤を薦めようとおあなたは考えました。

さて、あなたはどの製品を販売しますか？

- A. 太田胃腸鎮痛薬
- B. ザ・ガードコーワ鎮痛錠PC
- C. バンシロンN10

### キーワード

- 光線過敏症、クトプロフェン、外用NSAIDs
- 抗ヒスタミン薬
- テルビナフィン
- グルコサミン、ヒアルロン酸
- ニコレット、うつ病
- リズク区分
- ノムカビン
- せき止め薬
- カフェイン
- ミオパチー
- 美肌用
- 甘草、グリチルリチン酸
- 外用三軟
- フルコトールF 軟膏  
第6回ヒヤリハット  
第2回クイズ
- 索引
- ワルファリン/ワルファリン  
第6回クイズ  
第3回相談  
第3回クイズ
- 新・新薬品
- 妊娠末期
- イブA
- アスピリン
- イブプロフェン
- 血をサラサラにする薬と納豆
- 酸化マグネシウム  
第1回相談  
第2回相談

図 1. アイレドシスのトップページ

## ヒヤリハット投稿フォーム

### STEP 1 投稿内容の入力

**お名前 (必須)**

**ご連絡先メールアドレス (必須)**  
より詳細な情報もお伺いするため、こちらから  
電子メールを用いてご連絡させていただく機会もあります。

**購入者の(予測)年齢 (必須)**  **購入者の性別 (必須)**  男性  女性 **薬のための薬ですか?**

**医薬品は何ですか? (必須)**

**何がありましたか? (必須)**  
処方薬名、製薬会社、生薬名など、できるだけ具体的に教えてください。  
購入者の氏名など、個人情報は記入しないでください。

図 2-1. アイレドシスのヒヤリハット事例投稿フォーム

## なんでもかんでも相談フォーム

### STEP 1 相談内容の入力

**お名前 (必須)**

**ご連絡先メールアドレス (必須)**  
より詳細な情報もお伺いするため、こちらから  
電子メールを用いてご連絡させていただく機会もあります。

**相談したい内容を教えてください (必須)**  
相談したい内容は、できるだけ具体的に教えてください。  
購入者の氏名など、個人情報は記入しないでください。

図 2-2. アイレドシスのなんでもかんでも相談投稿フォーム



図 3-1. アイレドシスのパンフレット（閉じたところ）



図 3-2. アイレドシスのパンフレット表紙（開いたところ）

## 「登録販売者さん!頑張ろう!」

インターネットによる登録販売者間情報交換・研修システム(通称、アイレドシス)

### お仕事のブラッシュアップをサポートします!

本サイトは、3つのコーナーから構成されています。

#### トラブル・ヒヤリハットコーナー

登録販売者の皆様方から、実際の医薬品や健康食品などの販売時の「トラブル事例」や「トラブル」につながりかねなかったような「ヒヤリハット事例」を投稿していただき、東京大学大学院薬学系研究科・医薬品情報学講座による解説・解析を加えた上で、ご提供(フィードバック)するというコーナーです。



#### なんでもかんでも相談コーナー



お客様からの相談に答えられなかったご経験はありませんか? お客様からの相談(疑問)・要望(ニーズ)に対して的確にお答えできるために、医薬品や健康食品に関する疑問や質問、日々の販売業務における様々な疑問にお答えします。

#### クイズコーナー

重要だと思われる医薬品の情報をクイズ形式で学習できます。これらの情報は、お客様への医薬品・健康食品に関する確かな説明を積極的に実践し、最終的にはトラブルを可能な限り事前回避して、適正な販売が展開できるなど、日々の業務をサポートする情報が多く含まれています。



図 3-3. アイレドシスのパンフレット説明文(開いたところ)

**この記事のご感想を教えてください！**

参考になりましたか？                       はい  いいえ

このような事を経験したことがありますか？    はい  いいえ

図 4-1.    トラブルヒヤリハットコーナー評価システム

**この記事のご感想を教えてください！**

この事例は参考になりましたか？     はい  いいえ

この事例はむずかしかったですか？    はい  いいえ

図 4-2.    何でもかんでも相談・クイズコーナー評価システム



市販後情報交換・共有のためのネットワーク（独自に開発）

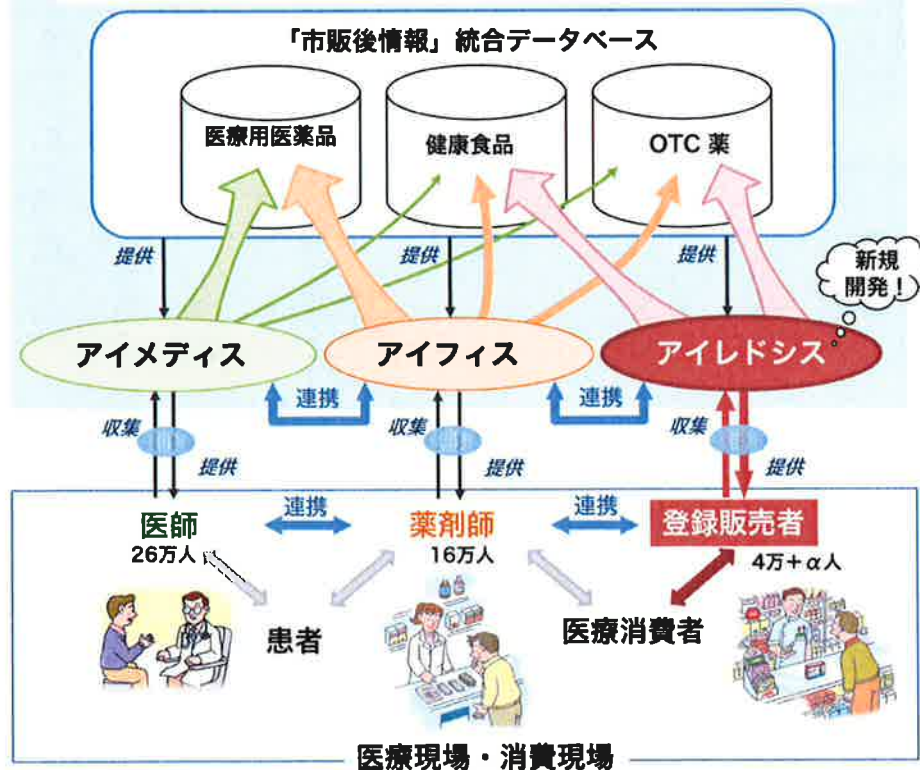


図 5. 登録販売者間、薬剤師間、医師間情報交換・研修システム（アイレドシス、アイフィス、アイメディス）の開発とシステム間連携に基づく、医薬品・健康食品の安心安全確保

\*アイフィス(iphiss) : Internet-based pharmacist's information sharing system

\*アイメディス(imediss) : Internet-based medical doctor's information sharing system

\*アイレドシス(iredsiss) : Internet-based registered drug seller's information sharing system

登録販売者のみなさま、こんにちは。

ヨウ素を含む消毒剤などの飲用防止について

福島第一原子力発電所の事故を受け、放射線被爆に対する不安が国民に広まっています。放射性ヨウ素への被爆の影響を低減するために、うがい薬などのヨウ素を含む市販品の飲用が有効であるといった根拠の無い情報が流れています。こういった情報に対して、独立行政法人放射線医学総合研究所から「ヨウ素を含む消毒剤などの飲用防止」の注意が喚起されています(2011年3月14日)。

「うがい薬などのヨウ素を含む市販品」は、放射性ヨウ素被爆の影響低減のために処方される内服薬である『安定ヨウ素剤』とは異なります。これらの市販品の不適切な飲用は効果がないばかりか体への有害作用も懸念されます。一般の方が惑わされないよう、確かな情報の把握と提供をお願いします。

詳細は以下をご参照ください。

独立行政法人放射線医学総合研究所からの情報(pdf)

<http://www.nirs.go.jp/data/youso-2.pdf>

★★★

★★★

さて今回は、クイズコーナーの事例から

「コルゲンコーワ鼻炎ソフトミニカプセル」を販売してはいけない人は？  
をご紹介します。

〔問題〕

以下のうちどの人に「コルゲンコーワ鼻炎ソフトミニカプセル」を販売してはいけないでしょうか？

1. ワルファリンを服用している人  
(ワルファリンの詳細は、なんでもかんでも相談(3)を参照してください)
2. 白内障の人
3. 高血圧の人

★★★

★★★

今後の日常業務にお役立ていただければ幸いです。

詳細な情報につきましては、アイレドシスのサイト

<https://www.ikuyaku-ut.jp/otc/member/>

にID・パスワードを用いてアクセスし、最新版を閲覧ください。